

子育てサロン 新田

ひまわりだより

2015年6月1日



新田保育園
園長 川端隆

『こころをゆさぶる体験』

5月は年長のぞうぐみが2泊3日で埼玉県の飯能へ合宿に行ってきました。「こころをゆさぶる。そんな合宿にしたい。」出発前の職員会議でぞう組担任小泉保が話していました。願い叶って晴天に恵まれ、山登り、川遊び、天狗との出会いと自然の中でこころをゆさぶる体験をしてきました。

さて、ぞう組には子どもとしても合宿に参加し、今は保護者として合宿に我が子を送りだしたお母さんがいらっしゃいます。はなちゃんのお母さんです。今から30数年前、お母さんがまだチャコちゃんと呼ばれていた頃、同じ5月にぞう組の仲間達と飯能へと旅立ったのでした。当時の思い出はしっかり記憶に残っているそうです。ガイコツお化けに会ったのだそうです！

当時の資料が園に残っていたので調べてみた所、合宿の内容は今とほとんど変わりありませんでした。合宿前には自分のことが自分でできるよう、「がんばり表」の取り組み（早寝早起き洗顔など、基本的な生活習慣の自立にむけ子どもが主体的にがんばります）があるのですが、チャコちゃんもはなちゃんも「がんばり表」に○をつけるためお家でもがんばったとの記述がありました。時代は変わったのかもしれませんが、子どもの姿は変わりなく、送り出す保護者の思いにも変化はありませんでした。

「合宿」という言葉も当時から使われていました。新田保育園では「お泊り保育」という言葉を使いません。なぜなら、「泊まる」ことは目的ではなく「仲間との絆を深めるための手段」として考えているからです。「1人ではできないことでも、ぞう組の仲間と一緒にならできたのだ！」こういう体験をしてほしいと保育者は願っています。30数年前の保育者も今の保育者も同じ思いを持って合宿に取り組んできたことが資料からわかりました。

保護者の「子どもの命を託す覚悟」保育者の「子どもの命を預かる覚悟」…大人達も子どもを真ん中に信頼し、手を繋がなければ、合宿を行うことはできません。このチームワークこそ、新田保育園の伝統です。

余談ですが、チャコちゃんの合宿にも今年のはなちゃんの合宿にも引率した職員がいます。ヒント。30数年前はお兄さんでした。いつも事務所にいる人です。もうおわかりですね。



***26日の2丁目公園出前語保育は雨天の場合、園にて開催いたします。**

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
6月				庭あそび						誕生日会		あじさいの製作					身体計測	庭あそび							2丁目公園出前保育					